ビジネスコミュニケーション手法の改善（第7回）

NASでデータ共有。困りごともサポート

2021.08.30

テレワークなど柔軟な働き方への対応や、円滑な社内コミュニケーションに欠かせないのがデータの共有だ。加えて、データ消失のビジネスリスクとなる集中豪雨や台風など自然災害への対応、事業継続に必要なデータバックアップ。こうしたビジネスデータの保管・管理に役立つのがNAS（ネットワーク設置型ストレージ）だ。

扱いに慣れたHDD（ハードディスクドライブ）にないメリットもあるが、運用が難しそうにも見える。NTT西日本ではそんな不安を解消すべくトータルセキュリティの観点から、オフィスの困りごとをサポートする“ヘルプデスク”サービスも併せたセット販売を強化している。

信頼性の高いNASで重要データを保管・共有

パソコンに外付けするHDDとは違い、NASは本社などの社内ネットワーク上に設置し、社員同士の情報共有に利用できるファイルサーバーや、大容量データの保管・バックアップが可能なストレージとして機能する。本社内のパソコンはもちろん、支店・営業所などのリモート拠点のパソコンもフレッツ・VPN
ワイドなどの通信サービスを介して本社などに設置されたNASにアクセスすることで、社内データの活用が可能だ。

NASはIT機器を扱う家電量販店などで入手可能なタイプもあるが、導入後のサポートを含め、安心できる事業者から購入したい。そうした事業者の1つであるNTT西日本では、Biz Box Server
「OSPro」シリーズの名称でNASを提供。企業の規模や扱うデータなど業務内容に応じて選択できる3モデルを用意する。

いずれのモデルも、大容量かつ高い信頼性が求められるNAS向けのハードディスクドライブを搭載し、5年間の連続稼働を想定した製品設計となっている。また、OSを格納するシステム領域は独立したSSD（ソリッドステートドライブ）を採用。HDDに比べて衝撃に強く、高速なデータ処理が可能だ。

管理機能やバックアップ機能で安全なデータ活用… 続きを読む